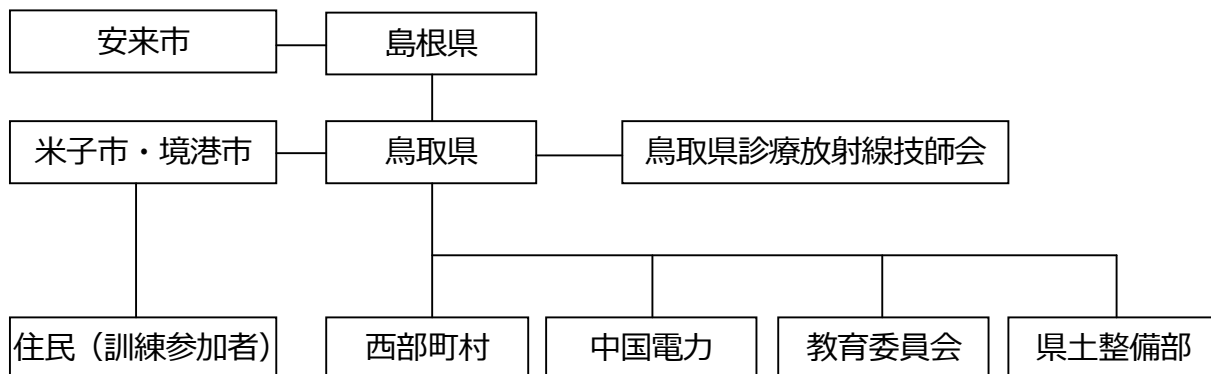


8 訓練スケジュール

米子市及び境港市の避難訓練計画を検討し策定する。

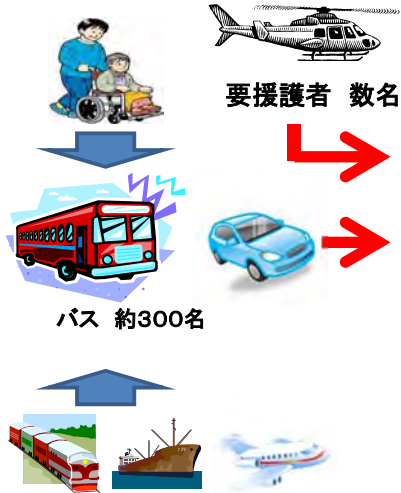
9 訓練編成表



10 訓練時使用資機材等一覧表

資機材等名	個数	備考
ストップウォッチ	4	健康政策課
デジタルカメラ	2	健康政策課、西部福祉保健局
車椅子	4	西部福祉保健局又は西部総合事務所
GM サーベイメーター	17	西部福祉保健局（17）
ポケット線量計	30	西部福祉保健局
簡易除染キット	1	西部福祉保健局
個人防護具（感染症用ガウン等）	60	西部福祉保健局
ビブス	60	健康政策課
スクリーニング検査説明資料	500	健康政策課
スクリーニング測定記録票	500	健康政策課
スクリーニング済証	500	健康政策課
除染済証	20	健康政策課
ポケット線量計記録票	30	健康政策課

緊急被ばく医療活動訓練【避難退域時検査】概要



避難退域時検査会場(伯耆町岸本B&G海洋センター)



避難退域時検査・簡易除染

- ①受付・説明・誘導
- ②1次避難退域時検査
- ③簡易除染
- ④2次避難退域時検査
- ⑤健康相談



訓練の目的

- 新マニュアルによる避難退域時検査及び簡易除染手順の確認
- 避難住民検査の代用として実施する車両検査との連携を確認
- 避難退域時検査動員者への実態に即した指導方法の手順確認

緊急被ばく医療活動訓練実施要領（案）

【安定ヨウ素剤】

1 目的

住民避難訓練に合わせて、①安定ヨウ素剤の服用・調剤指示の伝達ルートの確認、②安定ヨウ素剤の病院・調剤拠点薬局での調剤の手順、所要時間の確認、③一時集結所、避難退域時検査会場への配送について検証を行うとともに、④一時集結所等での服用説明・模擬服用を実施する。

2 主要訓練項目

- (1) 安定ヨウ素剤の調剤、輸送
- (2) 安定ヨウ素剤服用に係る住民説明
- (3) 安定ヨウ素剤の服用、事後対応

3 実施日時

平成27年10月25日（日） 7：30～12：30

* 地区により開始時間が異なる（担当訓練終了後解散）

4 実施場所

調剤拠点薬局、一時集結所、済生会境港総合病院、県立厚生病院、県立中央病院、避難退域時検査会場（伯耆町岸本 B&G 海洋センター）

5 実施機関

鳥取県、米子市、境港市

6 参加予定機関

鳥取県、米子市、境港市、一般社団法人鳥取県薬剤師会、済生会境港総合病院、県立厚生病院、県立中央病院

7 訓練内容

(1) 伝達訓練（指示の伝達）

原子力災害対策本部から安定ヨウ素剤の服用指示があった場合における服用指示の伝達及び安定ヨウ素剤（乳幼児用液剤）の調剤指示の伝達訓練を実施する。

(2) 調剤・配送訓練

ア 調剤拠点薬局、済生会境港総合病院、厚生病院、中央病院で調剤訓練を行う。

イ 調剤した薬剤の配送訓練を行う。

避難退域時検査会場への配送：保健所職員

一時集結所への配送：市職員

(3) 一時集結所、避難退域時検査会場において安定ヨウ素剤の服用説明・模擬服用を実施する。（県・薬剤師会・市が実施）

なお、住民への説明は、資料により一括で実施する方式とする。

※ 伝達訓練、調剤・配送訓練とは連動しない。

- 8 訓練編成表
別添のとおり
- 9 訓練時使用資機材等一覧表
別添のとおり

緊急被ばく医療活動（安定ヨウ素剤）訓練の編成

実際の災害時の活動を見据えて訓練編成を行う。

※訓練編成においては、実際の業務における指揮命令系統と異なる場合もある。



注1：数値は県職員（県立病院含む）の動員者数。なお、【 】内は、県職員以外の動員者数。

注2：中部総合事務所は、厚生病院で調剤した液剤等を、避難退域時検査会場（伯耆町岸本 B & G 海洋センター）に配送する。

注3：米子市・境港市では、調剤拠点薬局から一時集結所への調剤液剤の配送訓練も実施。

注4：避難退域時検査会場へは東・中・西部事務所から各1名。（各地域での今後の設置・運営に係る計画・指導等に対応するための訓練を兼ね、それぞれ薬剤師を派遣）

訓練時に使用する資機材等一覧

資機材等名	個数	備考
ヨウ化カリウム末 (25g)	90	本
単シロップ (500ML)	23	本
滅菌精製水 (500ML)	1	箱
サンプル管	7	箱
サンプルホルダー	70	個
サンプルホルダーのフタ	70	個
チョコベビー (CHOCO BABY)	4	個
水 (ペットボトル: 2L)	4	本
紙コップ	8	袋

車両確認検査等実施要領（案）

1 目的

県として、車両への検査及び簡易除染に関し、国の示したマニュアルに基づき実施するとともに、訓練参加住民に対し、車両への検査・簡易除染の体験及び車両検査等の見学を行っていただき、原子力全般への知識・理解も深めていただく。

2 主要訓練項目

- (1) 国が作成した「原子力災害時における避難退域時検査及び簡易除染マニュアル」に基づいた車両への検査及び簡易除染の実施

3 実施日時

平成27年10月25日（日）調整中

4 実施場所

伯耆町岸本B & G海洋センター

5 実施機関

鳥取県

6 参加（予定）機関等

- (1) 訓練参加（予定）機関
鳥取県、陸上自衛隊第8普通科連隊
- (2) 訓練参加（予定）者数
調整中

7 訓練内容

- (1) 避難退域時検査会場における車両（バス、乗用車）への検査及び簡易除染の実施
- (2) 自衛隊による車両除染デモの実施
- (3) 訓練参加住民への車両除染デモ等の見学及び知識の普及

車両確認検査等訓練の概要（案）

【目的】

車両への検査及び簡易除染に関し、国の示したマニュアルに基づき実施するとともに、訓練参加住民に対し、車両への検査・簡易除染の体験及び車両検査等の見学を行っていただき、原子力全般への知識・理解も深めていただく。

【内容】

- 伯耆町岸本B&G海洋センター（避難退域時検査会場）における車両（バス、乗用車）への検査及び簡易除染の実施
- 自衛隊等による車両除染デモの実施
- 訓練参加住民への車両除染デモ等の見学及び知識の普及



車両検査



車両除染

県営広域避難所開設訓練実施要領

1 目的

島根原子力発電所での緊急事態発生に伴う広域住民避難の際に、迅速かつ円滑に県営広域避難所を開設するため、開設手順等の検証を行う。

2 主要訓練項目

- (1) 動員者による県営広域避難所（居住スペース）の設営
- (2) 職員の動員手順の確認

3 実施日時

平成27年8月25日（火）午前9時～正午、午後2時～午後2時20分

4 実施場所

とりぎん文化会館 展示室

5 実施機関

鳥取県

6 参加（予定）機関等

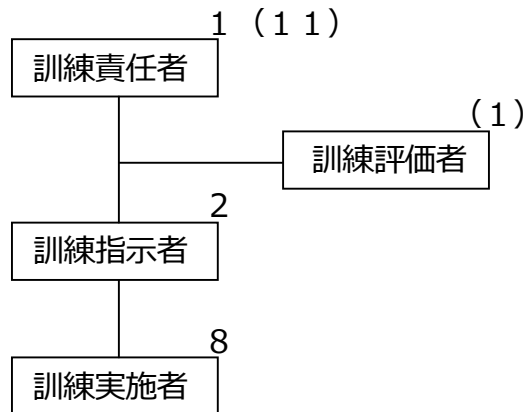
- (1) 訓練参加（予定）機関
鳥取県、住民避難訓練（船舶）参加者
- (2) 訓練参加（予定）者数
約50名（うち一般参加者約40名）

7 訓練内容

- (1) 職員の動員手順に従って動員者を招集。（総務部内で対応予定）
- (2) 動員者に対して作業内容を説明。
- (3) 動員者による居住スペースの設営。（段ボール敷設及び間仕切り設置等）
- (4) 住民避難訓練（船舶）参加者の視察への対応を実施。

8 訓練編成表

※訓練編成においては、実際の業務の一部について訓練を実施するため、実際の業務における指揮命令系統と異なる部分もある。



【訓練当日の対応】

- 進捗管理
 - ・準備開始
 - ・訓練開始
 - ・訓練終了
 - ・撤収作業
- 安全管理
- 視察（参観）者対応

9 訓練時使用資機材等一覧表

資機材等名	個数	備考
広域避難所内居住スペース設営用段ボール（約1m×2m）	100枚	
広域避難所内居住スペース設営用段ボール（約1m×1m）	80枚	
資機材搬送用車両	1台	レンタル

県営広域避難所開設訓練の概要

【日時】 平成27年8月25日（火）9：00～12：00

【場所】 とりぎん文化会館 展示室

【概要】 ・ 動員者による県営広域避難所（居住スペース）の設営
・ 職員の動員手順の確認

※住民避難訓練（船舶）参加者の県営広域避難所の見学については、
当該訓練の中止に伴い未実施

【訓練の様子】

・ 段ボールの敷設（約100名分）

＜敷設前＞



＜敷設作業＞



＜敷設後＞



・ 間仕切り段ボール設置（12区画、24名分）

＜設置作業＞



＜設置後＞



＜設置後＞



原子力防災講座等実施要領（案）

1 目的

原子力防災訓練（住民避難・避難退域時検査）の参加住民に原子力防災や放射線等についての知識・理解を深めていただくとともに、訓練参加住民に福島事故の状況等のパネルや防災関係機関の防災関係機器等を展示し、原子力全般への知識・理解も深めていただく。

2 主要訓練項目

訓練参加住民への知識の普及啓発

3 実施日時

平成27年10月25日（日）10:00～13:00

4 実施場所

- (1) 原子力防災講座
伯耆町農村環境改善センター
- (2) 展示等
伯耆町岸本B & G海洋センター

5 実施機関

鳥取県、米子市、境港市

6 参加（予定）機関等

- (1) 参加（予定）機関
自衛隊鳥取地方協力本部、NTT フィールドテクノ中国支店鳥取営業所、ドコモ CS 中国鳥取支店、ソフトバンクモバイル株式会社、
- (2) 参加（予定）者数
原子力防災訓練参加住民 約300名

7 訓練内容

- (1) 原子力防災講座
放射線の基礎や人体への影響などに関する講演会を行う。
【講師】広島国際大学 保健医療学部 診療放射線学科
准教授 林 慎一郎（はやし しんいちろう）氏
※1回の講演時間は約30分（質疑含む）
- (2) 展示等
災害時の通信機器等の展示や災害発生時の活動等を紹介したパネル等を展示する。

原子力防災講座等の概要（案）

【目的】

原子力防災訓練に参加住民を対象として、原子力防災や放射線等についての知識・理解を深めていただくとともに、福島事故の状況等のパネル等を展示し、原子力全般への知識・理解も深めていただく。

【対象者】

米子市・境港市市民（避難訓練参加者）約300名

【場所】

（原子力防災講座）伯耆町農村環境改善センター
（展示等）伯耆町B&G海洋センター前

【内容】

（原子力防災講座）

○放射線の基礎や人体への影響などに関する講演
（1回の講演時間は約30分、3回に分けて開催）

○講師

広島国際大学 保険医療学部 診療放射線学科
准教授 林 慎一郎（はやし しんいちろう）氏

（展示等）

○災害時の通信機器等の展示や災害発生時の活動等を
紹介したパネル等を展示



平成27年度鳥取県原子力防災訓練（島根原子力発電所対応） 米子市原子力防災訓練（案）

1 目的

避難指示発令による段階的避難を想定し、バス、JR、航空機等による住民避難を一連の状況下を実施することにより、一時集結所における住民避難状況を把握するなど、米子市広域住民避難計画の実効性を検証する。

2 主要訓練項目

多様な避難手段（バス、JR、航空機等）による住民避難の実施

3 実施日時

初動対応訓練 平成27年10月23日（金）午前9時～午後3時（予定）

住民避難訓練 平成27年10月25日（日）午前8時～午後1時（予定）

4 実施場所

（1）一時集結所：彦名公民館、河崎小学校、弓ヶ浜体育館

（2）避難退域時検査会場：伯耆町「B & G海洋センター」

（3）原子力防災研修会場：伯耆町「B & G海洋センター」

5 実施機関 鳥取県、米子市

6 参加機関

彦名地区自治連合会、米子市消防団〔（彦名分団）予定〕、鳥取県警、西日本旅客鉄道株式会社米子支社、陸上自衛隊第8普通科連隊、公益財団法人鳥取県国際交流財団、鳥取県西部聴覚障がい者センター、隊友会西部地区会など

7 訓練内容

（1）住民避難訓練

バス・JR・自衛隊ヘリ等による避難訓練の実施

（2）避難行動要支援者避難訓練

外国人、聴覚障がい者、在宅の避難行動要支援者等

（3）避難が遅れた住民への対応訓練

自衛隊の協力による避難訓練

（4）安定ヨウ素剤服用及び配送訓練

（5）原子力防災研修等

8 住民避難訓練概要

8：00 前後

サイレン、防災無線による避難指示（無線放送を聞いてから避難開始）

↓ 徒歩で一時集結所（彦名公民館、河崎小学校、弓ヶ浜体育館）へ避難

一時集結所避難完了（安定ヨウ素剤服用訓練）

- ① バス、JRに乗車し、避難退域時検査会場（伯耆町岸本B & G海洋センター）へ避難